

果して吾人の期する所の眞實の了解を、幼兒が得つゝありや否やは疑問なりと知らずや、或は吾等の説明の意味と全く異なりたる觀念を得て、併も『分りました』と答へつゝあるやも知るべからず苟くも此の如けんか、間違つたる觀念をして先入主とならしむ、保育者の責やまことに大。

よし、眞實分つたにせよ 夫を分らんが爲めに可憐なる幼兒が、其軟弱なる腦髓を苦しむること幾許ぞ、乞ふ如何に苦しみて、幼兒輩が吾等にすら容易に解し兼ねる唱歌の歌詞を授けられつゝあるかを察せよ、而して、此の如く彼等の腦髓を苦しませしめて、而して彼等に益する所、また幾許ぞ 今や子供らしき唱歌も稍世に顯はるゝに至りたりといへども、尙「民草」の唱歌も教へられ居るなり、これ其一例のみ、吾人は多くを擧げず。大

○人○に○取○り○て○面○白○さ○の○を○教○ふ○る○、○こ○れ○誤○認○の○根○本○
なり

談話に於ても然り、吾人は往々にして、大人にすら實行し難き德行を幼稚園脩身話として授けつゝあるを見るなり。諸君、幼稚園に次ぎては、更に小學校あることを記憶せられよ。

小兒の發達に注意して
ごらんなさい

單 念 生

私は小兒の身長体重及腦が如何に發達するかを簡略に述べて見ませう

(一)身長 或るイギリスの學者の調べたる所によりますと男は生れたる時は凡そ平均一尺六寸程ありまして女は之れより少しく小くあります 夫よりだ

んく生長する割合を申しませすれば男は一年目に
 は全体の百分の四十を増し女は百分の三十を増す
 と云ひます夫れより二年目は男は百分の二十五女
 は百分の十一二位であります三年目は殆んど同一
 で百分の十五位であります然るに四年目になりま
 すと男は百分の十でありますが女は百分の十八九
 を増します五年六年は略同一で百分の七八位であ
 ります七年になりませすと男は百分の八九位女は百
 分の六七位になります八年は略同一で百分の五位
 であります九年になると男は僅二百分の二三に減
 じ女は百分の五以上であります十年は共に百分の
 七位であります而して之より以後に於て最も身長
 の増すときは男は十六歳の時で百分の八位女は
 二十二三十四歳の時で百分の七位であります斯く
 身長の發達に高低がありますのは種々の原因があ

りませうが一の原因は身長の伸びる時は他の機關
 は發達せず又他の機關が發達する時は身長が伸び
 ないのであります

(二) 体重 是もイギリスの學者の調べたる所により
 ますと男は生れたばかりには平均八百五十目位に
 て女は之より少しく軽くあります一年目になりま
 すと男は一貫八百目程を増し女は一貫六百目程を
 増し二年目には男は一貫目女は一貫二百目程を増
 し三年目は男は三百六十目女は四百八十目程を増
 し四年目には女は僅に二百四十目男は三百六十目
 を増し五年目には女が三百六十目男は四百八十目
 を増し六年目は男女共に殆んど前年と同一であり
 ます八年目は男女共に同一でありますして六百目を
 増し九年目は男は六百目以上に及ぶに反して女は
 五百目に減じます夫れより十年目は男女共に大に

増して男は八百目女は七百目に及びます而して之より以後に於ては女は十一二十三三十四十五歳まで非常なる割合を以て増加し其十三四歳の頃は一貫三百目以上を増加し夫れより尙増加を續けつゝあるも七十八歳に至れば三四百目を増加するに過ぎざるに至ります之に反して男は十一歳より次第に増加し十六歳に至り其極點に達し二貫目の増加を爲すに至る夫れより多少増加の割合を減ずるも十八歳の終り頃に至れば大に減じて六百目の増加を爲すに至る此体重の増加を爲す時も前位の増加の場合と同じく他の機關の發達は遅緩となり増加の割合遅緩となるときは他の機關が發達しつゝあるのであります

(三) 腦の重量 腦の重量は年令に由て差異あるものでありまして或時は重く或時は輕きものであります

す獨逸の或る學者が調べたものかありますから左に申上げませう男女共に生時は百多目餘でありますが一一年目には大に増加して男は二百五十目以上女は二百三十目に達し二年目には男は二百八十九目女は二百五六十目に達し三年目には男は殆んど三百目女は二百八十九目となります四年目に至り男は大に増加して三百五十目に及び女は二百九十目に至ります五年目には男は又減じて三百三十目となり女は尙増加して三百二十目となります六年目には男女共に増加して女は三百三十四目となり男は三百六十目となる七年目には男は前年より僅に減じ女は大に増加して三百五十目となります八年目には男は増加して三百七十目女は減じて三百目足らずとなります九年目には男女共に増加して男は三百八十目女は三百三十目となり十年目には男は

稍減じ三百七十目となり女は三百四十目となります而して之れより以後は男は十二歳の時大に増加して四百目以上に達し十四歳の時は又減して三百七十目許となり十五歳の時更に四百以上に達し之れより二十歳に至るまでは僅に減ずるのみであります女は十二歳より次第に増して十四歳の時は三百七十目に及び之より十七歳までは稍減じ十八歳の時は三百六十目位となり其後には少しく減ずるも大なる變化はありませぬ

以上の三状態を合せて考へ見ますれば男子は五歳頃には体重増加の割合強くして身長増加力は大に減じ脳の重量も亦減じます九年目には身長増加が大に減じて体重の増加は稍増し脳の重量は大に増します十一才には体重大に増すも身長増加は減じます而して脳の重量も多少減じます十六

才の時は体重身長脳の重量共に大に發達致します女にありては四才の時には身長大に増加して体重増加の割合大に減じ脳の重量は増加しつゝあります八才より九才の間は体重大に増し身長は割合に増さず脳の重量は稍減ず十一歳には身長増して体重は増さず脳の重量は減ずる方なり十三十四歳は身長体重脳の重量共に大に増加します以上の事より吾人は氣をつけて脳の重量の減少時期などに無理に勉強などをさせてはならぬことがわかります又最も發達する時期には食物も運動も修學も共に完全ならしめ一生の基礎を作ることに大に注意しなければなりません